

【資料5】

中山間地域ふるさと事業 について

埼玉県農林部
農業ビジネス支援課

中山間地域ふるさと事業とは

- ◆中山間地域が有する多面的機能の発揮と、地域住民活動の活性化を目的とする。
- ◆中山間ふるさと・水と土保全対策事業実施要綱(農林水産省)に基づき、都道府県に基金を設置。埼玉県の積立額は約6億円。
- ◆事業主体は都道府県。
- ◆運用益と基金を取り崩して事業費としている。令和2年度当初予算額は約16,480千円。

事業の構成

1 調査研究事業

令和2年度事業費:1,332千円(令和3年度予算額:10,905千円)

- ・地域住民活動の活性化に係るワークショップ等の実施
- ・大学生の等の外部の力を活用して集落の活性化を図る取組を実施
- ・集落営農を確立するための新たな生産技術や鳥獣害対策の調査研究

2 研修事業

令和2年度事業費:59千円(令和3年度予算額:300千円)

- ・地域活性化に必要なリーダーとなる人材を育成するための研修会の実施

3 啓発推進事業

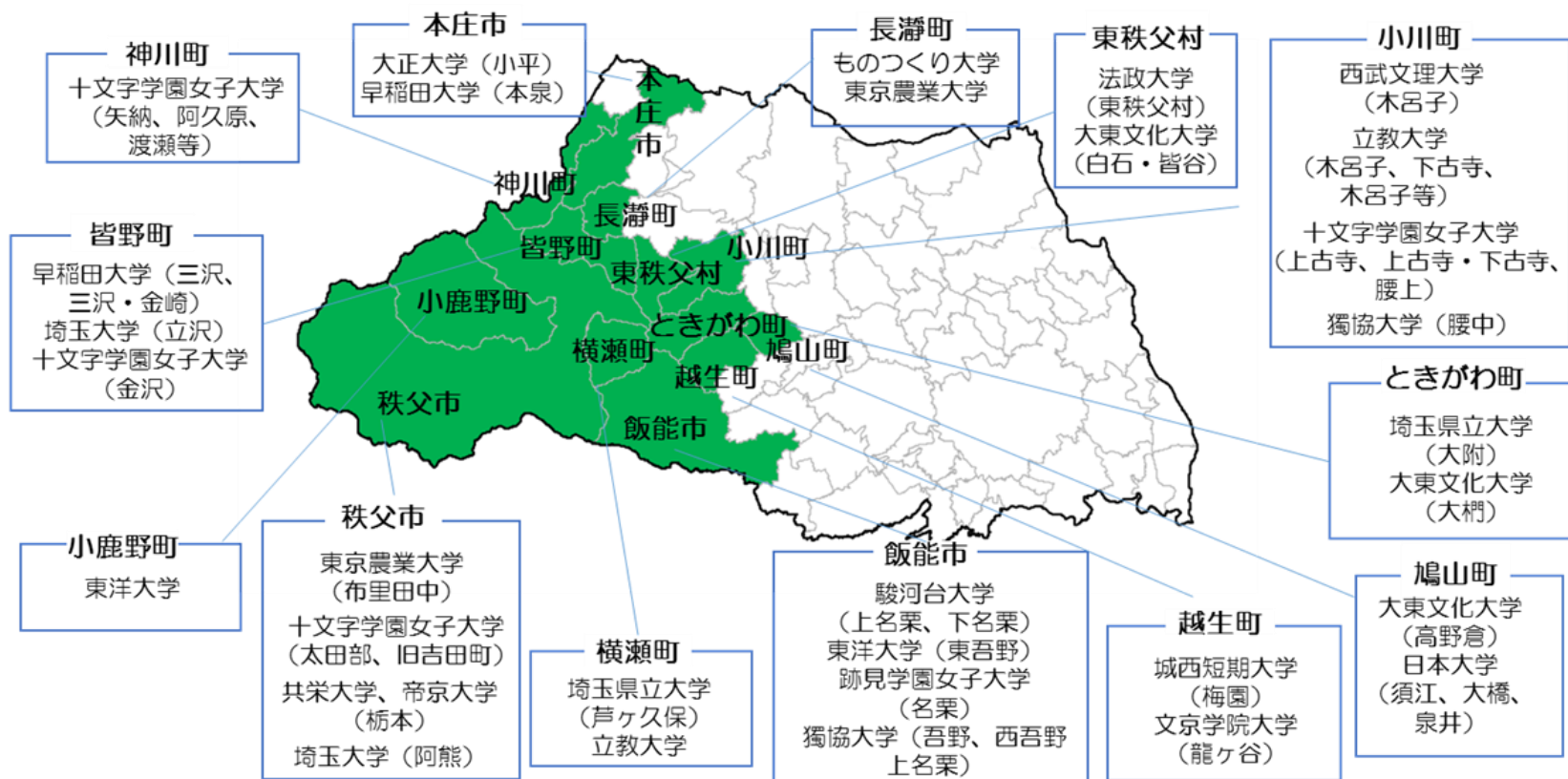
令和2年度事業費:232千円(令和3年度予算額:1,790千円)

- ・中山間地域の持つ多面的機能の理解増進についての普及・啓発活動の実施

ふるさと支援隊による支援

大学生等の持つ新しい視点や行動力、専門技術・知識など「外からの力」を活用することによって、集落の活性化を図る。
平成22年度から延べ43支援隊が活動している。

(令和2年度事業費 : 400千円)
(令和3年度予算額 : 5,600千円)



大学に委託して実施
1地区あたり50万円(継続地区は40万円)を上限とする。
※令和2年度は新型コロナウイルスの影響で継続地区のみの実施、10万円を上限に実施

令和2年度 4支援隊
(コロナ感染防止対策のため、既に地域と関係ができている継続地区の支援隊のみ)
※原則オンラインによる活動

ふるさとリーダー研修

(令和2年度事業費：59千円)

(令和3年度予算額：300千円)

中山間地域の活性化の推進及び助言等を行う人材を育成する。



開催日：令和3年2月12日

参加人数：10名

開催方法：オンライン（Zoom）

テーマ：

「体験活動（地域活性化活動）における安全管理について」

一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構 次長 花垣紀之 氏

農山漁村地域の案内・体験指導等を担う人材の育成

グリーン・ツーリズムインストラクター育成スクールの開

- エスコーターコース（地域案内コース）
基本開講設定：2泊3日
- コーディネーターコース（企画立案コース）
基本開講設定：3泊4日
- インストラクターコース（体験指導コース）
基本開講設定：2泊3日

認定者数：約4千名（令和2年度時点）
※詳しくは以下のサイトをご覧ください。
<https://www.kouryu.or.jp/service/school.html>

- ・ 事例を用いた事故防止のための管理手法、体験活動における感染症防止対策などについて
- ・ 県の関連事業の紹介
- ・ 質疑応答

中山間地域における取組の広報

中山間地域の持つ多面的機能の理解増進についての普及・啓発活動を実施する。 (令和2年度事業費：232千円)
(令和3年度予算額：1,790千円)

ホームページでのPR活動

○中山間地域の観光農園のいちごなど、コロナ禍によって販売金額が減少した農産物のお取り寄せ販売をPR

○ポータルサイト「グリーン・ツーリズム埼玉」にて中山間地域の観光農園等の情報を発信



完熟イチゴセット箱入り(4パック)
3,780円(税込)



完熟イチゴセット化粧箱入り(2パック)
2,376円(税込)



県庁150周年1年前イベント

○「県庁150周年1年前イベント」において埼玉県の中山間地域の農業をPR



広報誌の配付

○中山間地域の農村の魅力や活性化の取組を紹介する情報誌『新・田舎人』を市町村等に配布
※年4回配布(8月、10月、1月、3月)

中山間地域ふるさと事業

中山間ふるさと・水と土保全推進事業

(棚田基金)

棚田基金の構成

1 保全ネットワーク推進事業

- 保全活動への都市住民等の参加推進を図るために行う普及・啓発及び情報の収集・提供

2 保全活動推進事業

- 保全活動を行おうとする住民組織の活動計画等の作成

3 保全活動支援事業

- 住民組織が行う保全活動に要した経費に助成

※地域振興関連施策（中山間地域等直接支払等）と連携

棚田基金を活用した取組

(令和2年度事業費：288千円)
(令和3年度予算額：450千円)

棚田地域に関する情報を発信し、都市住民も交えた地域住民活動を推進。

各種イベントでのPR活動

<令和2年度>

○ 埼玉150周年1年前イベント（令和2年11月14日）において
棚田米を配布し情報発信



イベントの様子

横瀬町 寺坂棚田産
新米(ミルキーQueen)
「棚田米」は、山間部の傾斜地に階段状に作られた田んぼ(棚田)で栽培されたお米です。 棚田は、平地の田んぼよりも高いところにあるため、雪解け水や雨水などきれいな水で栽培することができます。 また、山間部は昼夜の温度差が大きいことから、甘みのある美味しいお米を育てることができます。
このお米は、横瀬町の「 寺坂棚田 」で収穫されたものです。 約5、2haの寺坂棚田は、250枚程の田んぼが広がる県内最大規模の棚田です。
寺坂棚田を守ろうと、地域農家の協力により、稲作体験のための「 寺坂棚田学校 」が開設されました。 年間約10回の農作業を行い、収穫された新米は参加者へ配布されます。
【棚田学校に関する問合せ】 横瀬町役場 振興課 TEL 0494-25-0114

横瀬町 寺坂棚田産
古代米
「古代米」とは、古代の稲の品種が持っていた特色を残した稲のことで、ミネラルやビタミン類を多く含み、健康食品としても見直されています。 白米1合(150g)に対して、黒米大さじ1杯(15g)程度混ぜ炊き上げることで、色鮮やかなご飯となります。
このお米は横瀬町の寺坂棚田で収穫されたものです。 約5、2haの寺坂棚田は、250枚程の田んぼが広がる県内最大規模の棚田です。
寺坂棚田を守ろうと、地域農家の協力により、稲作体験のための「 寺坂棚田学校 」が開設されました。 年間約10回の農作業を行い、収穫された古代米は参加者へ配布されます。
【棚田学校に関する問合せ】 横瀬町役場 振興課 TEL 0494-25-0114

棚田米に同封したチラシ

寺坂棚田の様子



ホタルかがり火まつり
(令和2・3年度は中止)



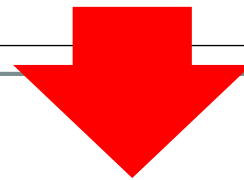
彼岸花まつり
(令和2・3年度は中止)

中山間ふるさと事業【調査研究事業】

令和2年度事業評価及び令和3年度事業の進捗状況

総合評価： A・・・順調 B・・・要改善 C・・・コロナ禍の影響等で事業内容を変更して実施したもの

令和2年度事業実績	県としての事業評価		事業評価を踏まえての 令和3年度の事業展開の考え方
<p>1 事業実施状況 新型コロナの影響により、コンサルタントによる支援及び新規のふるさと支援隊による支援を見送った。 (R2年度第1回委員会で承認)</p> <p>(1) コンサルタントによる支援 有志団体による観光マップ製作を支援</p> <p>(2) ふるさと支援隊の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 4支援隊が地域住民との共同活動等を実施 オンライン活動報告会の開催 	総合評価	C	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍が続くと想定される中ではあるが、新しい生活様式を踏まえた安全対策の意識が高まっていることを踏まえ、安全面を十分踏まえた上での現地活動など、十分な活動ができるよう実施する。 新規地区の実施を推進していく。 (目標値:新規3地区) 地域が持続的に活性化して、関係人口の増加に繋がる事業手法の検討を行う。



令和3年度の進捗状況

- ・コンサルタントによる支援 2地域(新規2地区)
- ・ふるさと支援隊の活動 8地域(新規1地域、継続7地域)
- コンサルタントによる支援は、美里町の地域住民活動支援と県内中山間地域全域を対象とした地域資源調査研究事業を新たに実施。
- ふるさと支援隊の活動は、緊急事態宣言により学生が活動することが難しく、進んでいない。

中山間ふるさと事業【研修事業】 令和2年度事業評価及び令和3年度事業の進捗状況

総合評価： A・・・順調 B・・・要改善 C・・・コロナ禍の影響等で事業内容を変更して実施したもの

令和2年度事業実績	県としての事業評価		事業評価を踏まえての 令和3年度の事業展開の考え方
<p>1 ふるさとリーダー研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和3年2月12日 ・参加人数 10名 ・内容 「体験活動(地域活性化活動)における安全管理」と題して、事例から事故防止のための管理手法、体験活動における感染症防止対策などについて、オンラインで実施。 	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のリーダーとなる人材を育成するため、時勢にあった研修テーマを選定し、開催する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ禍など、体験活動の安全性の確保が高まっている状況を受け、時勢に応じた内容で実施することができた。 ・研修後参加者に実施したアンケート(回答率:70%)は、全て肯定的な回答であり、一定の成果をあげることができた。 		



令和3年度の進捗状況

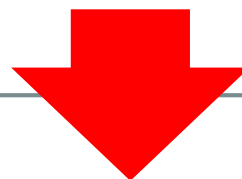
- ・ 11～12月頃実施予定。昨年度同様感染症対策としてオンラインでの実施を予定。

中山間ふるさと事業【啓発推進事業】

令和2年度事業評価及び令和3年度事業の進捗状況

総合評価： A・・・順調 B・・・要改善 C・・・コロナ禍の影響等で事業内容を変更して実施したもの

令和2年度事業実績	県としての事業評価		事業評価を踏まえての 令和3年度の事業展開の考え方
<p>1 啓発事業の実施</p> <p>(1) 埼玉150周年1年前イベントでのPRの実施 (中山間地域のパネルの展示など)</p> <p>(2) 中山間地域の観光農園など、コロナ禍によって販売金額が減少した農産物のお取り寄せ販売をホームページでPRした。</p> <p>(3) 情報誌「新・田舎人」を配布した。</p>	総合評価	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍が続くと想定される中、各種イベントの開催状況の情報などを早期に把握し、中山間地域の広報活動を企画していく。 ・ また、ホームページを活用して、中山間地域の資源や魅力をPRしていくことを検討する。
<p>新型コロナ禍の影響により、啓発活動を予定していた各種イベントが中止になり、十分な広報活動が実施することができなかった。</p> <p>そのような状況下であるが、県主催の大規模イベントで中山間地域のPRをし、ホームページや情報誌の配布などのイベント外の広報活動を実施することができた。</p>			



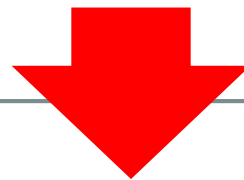
令和3年度の進捗状況

- ・ 情報誌の配布を行う(年4回予定)
- ・ 中山間地域のイベント、観光農園などの情報をホームページで紹介する(随時)

中山間ふるさと事業【棚田基金】 令和2年度事業評価及び令和3年度事業の進捗状況

総合評価： A・・・順調 B・・・要改善 C・・・コロナ禍の影響等で事業内容を変更して実施したもの

事業名	令和2年度事業実績	県としての事業評価		事業評価を踏まえての 令和3年度の事業展開の考え方
		総合評価		
中山間地域ふるさと事業【棚田基金】	<p>1 保全ネットワーク推進事業 埼玉150周年1年前イベントにおいて棚田米を配布し、棚田地域に関する情報を発信した。</p> <p>【事業実施箇所】 ・寺坂棚田(横瀬町)</p>	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 横瀬町及び寺坂地区の活動組織と協議し、効果的なPR方法及び住民組織が行う保全活動に寄与する取組を検討して実施する。 県内の棚田の状況を把握するため、全県を対象にした調査を実施する。
		<p>当初予定していた県主催イベント時に棚田米やチラシの配布、アンケートを行うことは、イベントの中止により出来なかったが、埼玉150周年1年前イベント時に記念品の一部として棚田米を配布することはでき、都市住民に寺坂棚田をPRするという目標は達成することができた。</p>		



令和3年度の進捗状況(予定)

- ・横瀬町寺坂棚田のPR
- ・PR用動画の撮影